

# 令和6年度 鈴鹿市立天栄中学校研修概要

【学校教育目標】 豊かな心と意欲をもって 未来を切り拓く生徒の育成

## 1. 研究主題

### つながりを大切にした学校活動の実践

～主体的に取り組む生徒の育成をめざして～

## 2. 主題設定の理由

本校は、天名地区、合川地区、栄地区、郡山地区、そして、平成28年度に通学区域弾力化が実施されたことにより加わった稲生地区の5つの小学校区からなる、生徒数名500名をやや下回る中規模校である。近隣には商業施設も無く、自然に囲まれた環境の中、生徒は落ち着いて学校生活を送ることができている。しかし、本校の生徒の様子を見ていると、「しなければならないことには取り組むことができるが、それ以上のことを求める生徒が少ない」、「思考したことを自ら進んで人に伝えることに難しさを感じる生徒が多い」といった、主体的な行動の少ない生徒、考えを伝えることに対する抵抗感のある生徒が多くいることが課題として見えてきた。その要因の1つには、人間関係の構築の苦手さが考えられる。前述の小学校区のうち、4地区の小学校で児童数が少なく、単学級となっている現状がある。小学校では人間関係の変化がなく、自分を出すことができた生徒も、中学校では新たな人間関係の構築にとまどい、委縮してしまうことが少なくない。また、クラス替えや班替え等、人間関係が変化する際に不安を訴える生徒は多い。このように、安定した人間関係が築けない状態では、周りの反応を恐れて生徒の主体的な行動は減ってしまうのではないだろうかと考えた。そこで本校では研修主題を「つながりを大切にした学校活動の実践～主体的に取り組む生徒の育成をめざして～」とし、信頼をもった「つながり」による人間関係を構築することで、生徒が主体的に学校活動に取り組む姿をめざすこととした。2年間の取り組みでお互いを認め合える「つながり」を育むための取組を組織的に実施すること、そして、自分の考えを出し合い、仲間とともに探求することができる協働課題を授業に取り入れることで主題に迫ってきた。成果としては、他者に寄り添う姿が増え、安心感のある雰囲気グループ学習ができるようになってきた。課題としては、人に依存しているだけの姿や友達ではなく群れてしまうだけの関係性がまだまだ見られることである。鳴門アンケートからも、「クラスでは人に対する思いやりが大切にされている」の数値は高いのにも関わらず、「安心して学ぶことができる」の項目は減少する年がある。また、全国学力・学習状況調査によると学力は全国平均を上回っているものの、学習に苦手意識を持つ生徒が多く存在し、学力差があるという課題が見えてきた。今年度は現状の課題改善に向けて、授業の中でさらに「つながり」を作っていけるように取り組んでいきたい。重点取組として①「わかる」より「わからなさ」「つまずき」を大切に授業実践・授業改善②信頼関係を持った本当のつながりの構築③教科ごとにおける協働課題の質の向上（みんなで深める課題設定）に取り組んでいき、協働課題の研究の「発展の年」となるようにしていきたい。さらに、異校種を結ぶ学びのつながりが、主体的に学校活動に取り組む土台となると考え、引き続き小中連携の推進に力を注ぎたい。

### 3. 主題にせまるための主な方策

- (1) 「つながり」を作る授業づくり（主体的・対話的で深い学び）
- (2) 信頼をもった「つながり」による人間関係の構築
- (3) 生徒が主体的に参加できる学校活動づくり
- (4) 生徒の心を支える体制づくり
- (5) 幼小中連携による学びのつながり

### 4. 具体的な取組

- (1) 「つながり」を作る授業づくり（主体的・対話的で深い学び）

**重点①子どもの「わからなさ」「つまずき」を大切にした授業実践・授業改善**

**重点②具体的な目指す「つながり」を生徒、教員が共に意識して取り組む。**

**重点③全教科における協働課題の設定 →（教科ごとの協働課題の基準を作る！）**

・「わからなさ」に注目したファシリテーションスキルの研修

・UDの視点に立った配慮（UDフォントの使用、教室掲示の工夫）

・全教職員年間1回の公開授業実施

6月授業公開研修、10月公開授業研修、授業公開ウィーク（第1回・第2回）

・校内研修における授業実践交流会（〇〇科の協働課題とは！？）の実施

・全国学力・学習状況調査およびみえスタディ・チェックを活用した授業改善

・鈴鹿市「安心して学べる学校を目指して」アンケートの実施および分析

- (2) 信頼をもった「つながり」による人間関係の構築

・「つながり」を育む取組の組織的な実践

仲間づくりの取組（ふれんどカード）

生徒間での承認活動の導入（天栄アプリシエイターズ、「クラスの中の自分」）

レジリエンス（非認知能力）を育む授業（全5回）

・「つながり」を育む取組実践の交流（2人以上に取り組みを紹介してもらう）

・具体的な目指す「つながり」の提示

- (3) 生徒が主体的に参加できる学校活動づくり

・生徒会活動における生徒の主体的な活動の推進

・室長会を中心とした生徒の主体的な活動の推進

- (4) 生徒の心を支える体制づくり

・各学期における教育相談の実施

・いじめアンケートの実施・対応

・あい教室の運営

・スクールカウンセラーおよび関係機関との連携

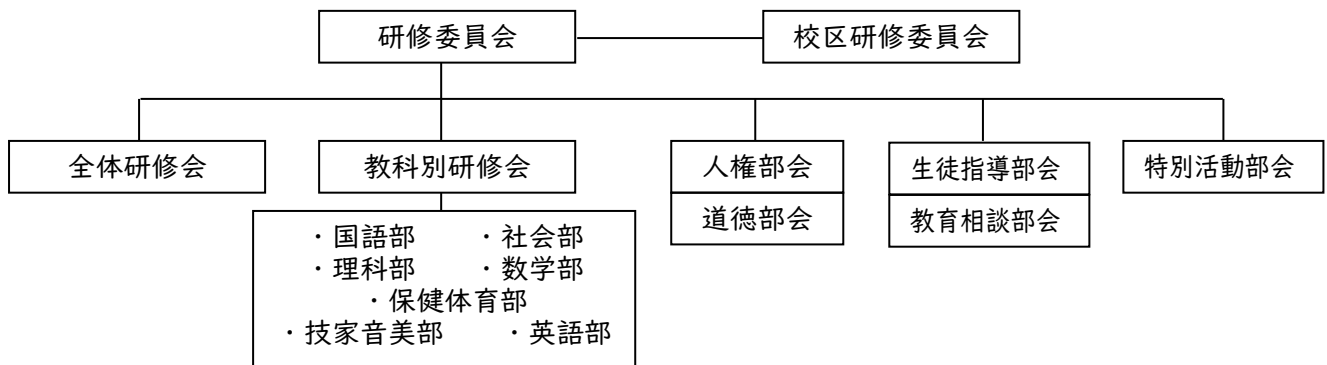
- (5) 幼小中連携による学びのつながり

・「家庭学習のてびき」の活用

・校区夏季学習会および校区教職員連携会議（育ちの部会・学びの部会）の開催

・新入生への春休みの宿題の取組（学びよつなぐれ！プロジェクト）

## 5. 研修の組織



## 6. 今年度の研修計画

	主な取り組み
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修概要説明（研修主題，研修課題，研修組織，研修計画等の決定，自分化シートの目標設定，いつメンの決定）（3日）</li> <li>・保健対応生徒研修会（5日）</li> <li>・「つながり」を育む取組「ふれんどカード」実施</li> <li>・シラバス・家庭学習のてびき・天中目指すつながりの共有（各教科，各学年説明）</li> <li>・第1回校内研修（協働課題ってどんなの？（教科部会））（10日）</li> <li>・全国学力・学習状況調査の実施（国語・数学・英語）</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みえスタディ・チェックの実施（2年生：1日、1年生：2日）</li> <li>・第2回校内研修会（「わからなさ」「つまずき」の手立てどうしてる？交流会 +教科の協働課題の基準作成に向けて（15日））</li> <li>・学校教育目標，年間指導計画提出</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みえスタディ・チェックの分析と対策</li> <li>・第1回授業公開ウィーク実施（10～14日）</li> <li>・第3回校内研修（授業公開研修 2名公開）（13日）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回校内研修会（わからないに注目したファシリテーションスキル研修 +授業実践交流会（〇〇科の協働課題とは）に向けて）（3日）</li> <li>・第1回学校アンケート実施（生徒・教師）</li> <li>・承認活動「天栄アプリシエイターズ」の取組実施</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区研修会（育ちの部会・学びの部会）の開催</li> <li>・全国学力・学習状況調査の分析・考察</li> <li>・第5回校内研修会（授業実践交流会（〇〇科の協働課題とは？の経過報告会））（21日）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「つながり」を育む取組「ふれんどカード」実施（夏休み明けバージョン）</li> <li>・第6回校内研修会（つながりを育む実践の交流（教員2名以上））（4日）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開授業研究会の開催（事後検討会，助言者未定）（1日）</li> <li>・第1回学校アンケート実施（保護者）</li> </ul>

	・文化祭を通しての承認活動「天栄アプリシエイターズ」の取組実施
11月	・第7回校内研修会（県教委出前講座予定（主体的・対話的で深い学びの授業とは？） ○○科の協働課題とは？作り）（27日） ・研修課題に関わる先進校の視察
12月	・第2回学校アンケート実施（生徒・教師） ・学校関係者評価実施
1月	・第9回校内研修会（承認活動について（クラスの中の自分））（8日） ・学校評価・関係者評価のまとめ，学校運営協議会での報告 ・第2回みえスタディ・チェックの実施 ・第2回授業公開ウィークの実施（20～24日）
2月	・来年度の研修について検討・協議 ・承認活動「天栄アプリシエイターズ」の取組実施 ・小中連携「学びよつながれ！プロジェクト」の実施 ・みえスタディ・チェックの分析と対策
3月	・承認活動「クラスの中の自分」の取組実施 ・シラバス，年間指導計画の見直し ・第10回校内研修会（今年度のまとめ，来年度の研修について，自分化シートの振り返り）（12日）

【校内研修会】・・・年9回を予定

- ①4/10（水），②5/15（水），③6/13（木），④7/3（水），⑤8/21（水），  
⑥9/4（水），⑦11/27（水），⑧1/8（水），⑨3/12（水）

【公開授業ウィーク・授業研修・公開研究授業】

- 1学期 6/12（月）～16（金）（ウィーク） ・ 6/15（木）授業研修※事後検討会あり  
2学期 10/4（水）公開研究※事後検討会あり  
3学期 1/20（月）～24（金）